

DOKEN Co., Ltd.

株式会社 動研

DOKEN

住所	〒441-1338 愛知県新城市一鍛田道目記1番地21
電話番号	0536-24-5100
Eメールアドレス	sales@doken.biz
ウェブサイトアドレス	http://www.doken.biz
コンタクトパーソン名	製造部 安藤大吾 営業部 大石詠次
カテゴリー	・機械加工 (5軸・3軸大型NCルーター加工) ・材料・複合材 (プラスチック材料の成形、異種材料の貼り合せ加工) ・表面処理・特殊加工 (ハードコート溶液製造及び表面処理加工) ・設計 (製品設計、治工具・型設計) ・検査 (性能試験・評価、安全規格認証取得) ・研究開発 (シリコンハードコート溶液の研究開発) ・その他 (大型シルク印刷、オートクレーブ貼り合せ)



代表者名	代表取締役 安藤英世
売上額	8.4億円 (2020年3月期)
資本金	1.0億円
従業員数	53名
設立日	1985年5月
取得認証	DOT-875, ECE-43R, VSTD 25-3
主な取引先企業	トヨタ自動車(株)／(株)豊田自動織機／トヨタ紡織(株)／トヨタ車体(株)／ (株)TOYOTA C&D／(株)帝人(株)／三菱重工(株)／川崎重工(株)／ 本田技研工業(株)／ヤマハ発動機(株)／スズキ(株)／NISMO(株)／ 愛知県警・警察庁・警視庁／官公庁など

企業の特徴・業務概要・行っているモノ作りの概要

次世代自動車をはじめ、車両、航空機、船舶などの分野では、窓ガラスのプラスチック化が進められています。プラスチック窓には強くて透明性に優れたポリカーボネートが採用されていますが、ガラスと比べ表面硬度に劣り傷付き易く、太陽光の紫外線などにより劣化を引き起こすことから、表面に耐擦傷性や耐候性などの機能を持たせたハードコート施工実用化しています。

設計や治工具・型などを自社で製作し、自社ブランドのSARCoat[®]シリコンハードコート溶液を持ち、独自の成形加工や表面処理など全て自社で実施し、プラスチック窓を生産しています。

製品情報・取扱材料・対応サイズ・主要設備

【主な製品】

自動車のプラスチック窓／鉄道車両の客室窓／建設機械キャビン・ルーフ窓
二輪車ウインドスクリーン、透明防護楯など

【取り扱い材料】

ポリカーボネート樹脂／アクリル樹脂／複合材／その他

【対応サイズ、主要設備】

成形加工可能な最大サイズ [平板材料で 2600x1500mm]

NCルーター加工可能な最大サイズ [5軸テーブル面で 2400x1400mm]

ディップコート方式ハードコート可能サイズ [L:1500xD:1300xW:300mm]

フローコート方式ハードコート可能サイズ [L:2400xH:1400mm]



TOKYO2020 選手村における「e-Palette」の運行



車いす用スロープ採用の低速EV「APM」



新幹線の客室窓

専門・得意分野・自社の強み

大型プラスチック窓を透明で歪なく成形加工ができ、硬くて傷が付き難いシリコンハードコートの開発調査から表面処理加工まで一貫してできます。

プラスチック窓のアメリカ自動車安全認証規格DOTやヨーロッパ製品安全認証規格ECE などにも対応しています。

どのようなニーズに対応できるか希望する取引企業に関すること等

透明で軽量のプラスチック窓の開発、設計、試作、量産まで対応できます。

スーパーキセノン促進耐候性試験機などの評価試験装置を全て整え、認証取得、品質保証にも万全を期しています。

拠点 (事業所・工場)

本社工場：愛知県新城市一鍛田道目記1番地21